

平成25年度 地域医療連携室ほたる アクションプラン

平成25年7月1日現在

項目	課題	目的	具体的内容	備考	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1 多職種連携上の課題と解決策	・口腔ケアの重要性など見落とされがちである ・口腔ケアに関する意識付け不足	・在宅口腔ケア提供体制を構築	・在宅訪問歯科診療相談窓口業務を継続する。 ・医師、ケアマネジャー、訪問看護師への再周知を行う。 ・歯科医師会との定期的なミーティングを継続する。 ・回復期病院に入院する脳卒中パズ患者への歯科介入を継続する。 ・訪問歯科診療申込書の新様式での運用を開始する。					・毎月第4月曜日、歯科医師会とのミーティング ・相談窓口業務									→	
	・訪問栄養食事指導についてあまり知られていない	・訪問栄養食事指導の実態把握	・栄養士会への聞き取り調査を実施する。						・情報収集・聞き取り内容の検討									
	・訪問看護師が薬剤師に繋ぐ窓口がない ・訪問服薬指導が活用されていない	・薬剤師会で設置した窓口の周知 ・訪問服薬指導の必要性について啓発し、利用促進に努める	・薬剤師会との定期的なミーティングを継続する。 ・薬剤師会で設置した窓口について文書等による周知を行う。					・毎月第3月曜日、薬剤師会とのミーティング		・相談窓口を薬局に設置	・お薬相談依頼書、在宅薬剤(居宅療養)管理指導依頼書を薬剤師会と作成							・医師と薬剤師との意見交換会を共催
	・組織横断的な情報共有体制が構築されていない	・在宅医療地域資源マップの活用促進 ・ほたるHPの情報充実度を高める	・在宅医療地域資源マップの更新(情報の見直し、追加)を行う。 ・毎月介護事業所等の新設等に関する情報を把握する。 ・訪問診療の実施・範囲について調査をし、在宅医療地域資源マップに情報を集約していく。 ・HPに各情報のリンクを貼り、分かりやすく説明する等工夫する。							・HPに掲載する情報、リンク先の確認	・確認した情報をホームページへ掲載							→
24時間対応の在宅医療提供体制の構築	・バックアップ体制の構築		・支え合いグループ体制「ゆきちネット」が機能するか検証を行う。 ・看取り以外のケースでも対応できるのか検討する。		・「ゆきちネット」運用開始												・まとめと課題整理	
チーム医療を提供するための情報共有体制の整備	・地域電子カルテ「Net4U」を利用する医療機関が少ない	・多職種連携の情報共有のツールとして「Net4U」の活用を促進する	・鶴岡地区医療情報ネットワーク協議会とタイアップし、研修会等を開催する。 ・歯科医師会会員への説明会を開催する。				・居宅介護支援センターくしびき(19日)、阿部医院(28日)、協立歯科クリニック(31日)にてNet4Uの説明を実施	・かみじ荘(11日)、健楽園(13日)、ふじの花荘(27日)にてNet4Uの説明を実施	・健楽園(7/3)にてNet4U操作説明 ・歯科医師会例会(7/30)にてNet4Uの説明を実施	・ちょうかいネット研修会との共催								
	・在宅療養における医療と介護間の連携がシームレスでない	・介護者参加型Web共有連絡ノート「Note4U」の活用を促進するために周知する	・市民への周知(メディアの活用)を行う。 ・個別に説明していく。					・施設訪問調査に合わせて、施設への周知を行う										→
効率的な医療提供のための多職種連携	・多職種の事務的業務の負担が大きい	・短期入所空き情報提供の充実	・毎週のショートステイ空き情報提供を継続する。 ・画面の見やすさ等検討する。														→	
		・医療依存度の高い方の施設受入れ情報の充実	・医療依存度の高い方の施設受入れ情報の充実	・医療依存度の高い方の施設受入れ情報提供を継続する。 ・新設の情報追加、内容の更新を行う。 ・活用のための周知を行う。					・ホームページへの掲載についての文書を作成し、周知									
10		・在宅医療連携の鍵となる医師の意識高揚	・南庄内在宅医療を考える会の企画段階から参画する。 ・医師と多職種の意見交換の場を設ける。					・第1回南庄内在宅医療を考える会(訪問看護師と医師との意見交換)(21日)					・第2回南庄内在宅医療を考える会(ケアマネジャーと医師との意見交換)				・第3回南庄内在宅医療を考える会(訪問リハビリと医師との意見交換)	



